

子育て世代の声を まちづくりに

「第3次与謝野町総合計画」（以下、第3次計画）の策定に向け、子育て世代の声をまちづくりに生かすため、町内のこども園・保育園の保護者会と幼稚園・小中学校のPTA 役員の皆さんにご協力いただき、「よさのみらい会議・子育て世代編」を、令和7年12月2日と9日の2日間、野田川わーくぱるにおいて開催しました。

今月号では、与謝野町の良さや日常生活の課題、これからのまちづくりへの期待など、参加された皆さんから寄せられた声を紹介しします。

☎ 企画財政課 ☎ 43-9015



グループに分かれて対話を深める皆さん

与謝野町での 子育ての良いところ

当日は、少人数のグループに分かれ、「子育てするならこのまちで」をテーマに対話を深めました。参加者からは、与謝野町ならではの環境や地域のつながりを評価する声が多く聞かれました。

良いところ、 おすすめできること

- 自然が豊かで、子どもがのびのび遊べる
- 住宅が密集しておらず、安心して外遊びができる

参加者から 寄せられたご提案

与謝野町での子育ての課題として、生活環境をより良くするための提案も多く寄せられました。

提案

- 安全に遊べる「公園や遊具の整備」
- 雨や雪の日でも遊べる「屋内の遊び場」
- 家族で利用できる「飲食店や買い物環境」
- 子どもが自分で移動できる「交通手段」
- 習いごとや学校などの「選択肢の充実」

- 地域の人とあいさつが交わせる環境
- 小規模な学校で子どもに目が届きやすい
- 産後ケア制度など子育て支援がある
- 「参加者の声」
- 「自然の中で思い切り遊べるのが与謝野町の魅力です」
- 「地域の人が子どもを見守ってくれている安心感があります」



立ち上がりさらに議論を深める皆さん

参加者の声

- 「雨の日でも子どもが遊べる場所があると助かります」
- 「子どもが自分で移動できる交通があると活動の幅が広がります」

子育てしやすい まちをめざして

そのほか、子育て支援制度の充実や手続きの分かりやすさ、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりなどについても多くのご意見をいただきました。与謝野町では、今回いただいた貴重な声を第3次計画に反映し、子どもたちが安心して成長できる、子育てしやすいまちづくりを進めていきます。

【特集】令和8年度予算と主な事業

New

教育・スポーツ・文化活動に寄り添う

小学校教育振興事業

予算額 (2,696 万円) / 学校教育課

小学校プールの老朽化や夏場の水泳授業を実施するため、全小学校の水泳授業をクアハウス岩滝で実施します。



New

健康・福祉に寄り添う

障害者福祉サービス利用者生活支援事業

予算額 (1,167 万円) / 福祉課

障害者福祉サービスを利用されている方の食事代の一部、また、障害福祉サービス事業所が提供する食事回数に応じて費用の一部を助成します。



New

健康・福祉に寄り添う

物価高騰対応生活者支援事業

予算額 (4,534 万円) / 福祉課

65歳以上の住民の方に、お一人あたり5,000円分の商品券を追加配布します。
※ 500円券×10枚



※ 画像は住民の皆さんにお配りした商品券

教育・スポーツ・文化活動に寄り添う

学校給食センター施設整備事業

予算額 (17 億 3,261 万円) / 学校教育課

町内の小・中学校に通う子どもたちに安心・安全な給食を提供するため、新たな学校給食センターを整備します。

※ 令和8年度中に供用開始予定



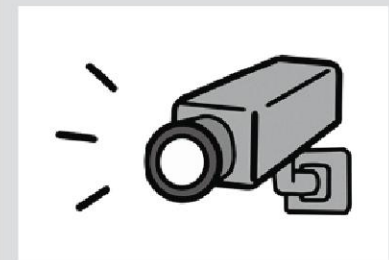
New

環境・暮らしに寄り添う

見守りカメラの設置支援

予算額 (156 万円) / 総務課

地域の方々による高齢者や子どもたちの見守りを目的とするカメラの設置を支援します。



New

子ども・子育てに寄り添う

乳児等通年支援事業

予算額 (85 万円) / 子育て応援課

働き方にかかわらず子育て世帯への支援を強化するため、満3歳未満の児童にこども園などに通園できる環境を提供します。

